

須賀川市立小中一貫教育校「稲田学園」令和2年度学園だより

# とう 雲 稲 雲

第3号

令和2年5月11日発行

発行者：校長 小貴 崇明



## 〇一日も早い学校再開を心から願っています！

5月8日(金)に、4月から始まった臨時休業中2回目の登校日を実施いたしました。前回(4月22日)同様、限られた時間の中で、臨時休業中の過ごし方の実態を調査するアンケートを実施したり、今後の家庭での新たな学習課題の確認や生活の改善について考えさせたりしました。



(一人一人距離をとって着席する子どもたち→)



ある学年では、放送による「校長先生のお話」をしっかりと理解できるよう、メモを取らせたそうです。集中して人の話を聞いたり、大切なことをノートにまとめたりといった「学ぶ姿勢」は、学校が再開されてから、特に大切なことだと考えます。ぜひ、ご家庭でも、分かったことをまとめる、分からないことや自分にとっての課題を列挙させるなど、「書くことで自分の

の考えややるべき行動を整理する」ことをぜひ意識的に行わせてほしいと思います。

(↑中体連が中止になったことを受けて、今後の部活動の目標について考えた7～9年生)

ところで、音楽関係の大会開催等に関する情報ですが、吹奏楽コンクール全国大会が中止になったことをうけ、県大会も中止ということになりました。支部大会の情報が入り次第、お知らせしたいと思います。

(部員全員でリズムアンサンブルをして合奏の喜びを思い出す音楽部→)



## 〇臨時休業の解除を祈って環境整美に汗を流しました



学校敷地内をきれいにさせていただいている2名の用務員さんとともに、臨時休業中先生方も加わって、校地内の草刈りや花壇の手入れなどを行っています。

5月11日(月)の朝は、気温がどんどん上昇する中、鎌や草刈機などを使って校舎東側の雑草をみんなで刈りました。約1時間で、大きなビニール袋が十数個になるほど、先生方は額に汗して頑張りました。美しい環境を作って、児童・生徒の皆さんが登校する日を心待ちにしています。

### ★ことばのちから(3)

### 「一体感(いったいかん)」

昨年度のラグビーW杯の影響で、スポーツ選手だけでなく、教師や政治家までも「ワンチーム」という言葉を好んで使っていました。(最近では全然聞きませんが…)でも、それって、昔から言われてきた組織やグループの「一体感」のことですよ。新型コロナウイルス感染拡大を防ぐ日本国民の動きにも、外出できずに家にいる家族にも、そして、もちろん小中一貫教育校・稲田学園においても、この「一体感」はとても重要です。手前味噌ですが、小中入り混じって草刈り作業をする本校の先生方の「一体感」に、私は少し感動しております。(^^♪